

休館日にご注意ください

蔵書点検による休館期間 9月25日(月)から29日(金)まで

本館、帷子・桜ヶ丘分館、移動図書館とも休館します。

注 意

※休館中は、図書館ホームページからの予約受付を停止します。

(ホームページの閲覧および、蔵書検索は可能です。ただし点検結果により、蔵書の状態が変わる可能性があります。)

※休館中は、電話でのお問合せにもお応えできかねますので、ご了承ください。

返却は、返却ポストでできます。CD・DVDなどは本と別の専用ポストへお返してください。なお、他の図書館から借用した資料や、大型絵本・大型紙芝居は返却ポストに入れしないでください。

●「蔵書点検」とは、館内にある資料(本、CD等含む)を、すべて一冊ずつバーコードリーダーで読み取り、点検する作業です。

点検により、所在不明資料などが明らかになり、蔵書数を確定できるとともに、蔵書検索結果が確実なものになります。利用者の皆さんにご不便をかけないよう、信頼できる蔵書のデータベースを作るために必要な作業です。また同時に、館内レイアウトの変更なども行います。



職員のおすすめ《この書き手に注目!》

伊坂 幸太郎

(いさか こうたろう 1971年千葉県生まれ)
2000年『オーデュボン』(新潮社)で第5回新潮ミステリー倶楽部賞を受賞しデビュー。『ゴールデンランバー』(新潮社)で本屋大賞、山本周五郎賞を受賞。

伊坂幸太郎の作品に共通するのは、●読み口が軽くテンポがいい ●軽妙な会話の中に名言がちりばめられている ●巧妙に張り巡らされた伏線とその見事な回収力 ●深刻なテーマを(あえて)陽気に伝えている点ではないでしょうか。

今回は数ある作品の中でも、その特徴が顕著な『重力ピエロ』(新潮社)を紹介します。連続放火事件が起こった仙台の街を舞台に、泉水と春の2人の兄弟が謎を追う話です。現場に残された謎のグラフィティと放火事件の関連性と遺伝子のルールを解明していきますが、それに28年前のレイヴン事件と春の出生の秘密が複雑に絡み合っていきます。謎解きの面白さと同時に、血の繋がりを超えた家族の絆を感じられる作品です。

(帷子分館 磯道)

奥田 英朗

(おくだ ひでお 1959年岐阜県生まれ)
プランナー等を経て作家になる。『空中ブランコ』(文芸春秋)で直木賞、『家日和』(集英社)で柴田錬三郎賞、『オリンピックの身代金』(角川書店)で吉川英治文学賞を受賞。

私がおすすめする1冊『空中ブランコ』は、ちょっと変わった病気にかかった患者たちが、もっと変な精神科医・伊良部一郎に振り回されるコミカルな短編集です。

本書の魅力は気軽さであると思います。およそ治療とは思えないドタバタの果てにいつの間にか患者が回復しているという話の流れには安心感があり、平易でユーモア溢れる文章もあいまって、肩の力を抜いて読むことができます。また、伊良部の幼稚で無邪気で自己中心的な生き方から、些細なことで頭を悩ませている自分がバカバカしく感じられ、読了後は肩の荷が下りたような清々しい気持ちになります。

現代社会のストレスにさらされ、ちょっと気持ちが荒んできた人たちに読んでほしい1冊です。

(本館 多賀)

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.0/マ/	謎床 ITと編集力が融合すると何が生まれるか? 日本文化にはどのような「謎を生み育てる床」があったのか? 編集工学研究所所長の松岡正剛とIT界の異才ドミニク・チェンによる、文化の創発力に肉迫するスリリングな対話。	松岡正剛/著	晶文社
018.0/ハ/	アルカイダから古文書を守った図書館員 マリ共和国中部のトンプクトウの古文書の多くが図書館に納められて数年後、アルカイダ系組織がマリ北部を制圧した。37万点もの歴史遺産はいかに救われたか? 知られざるドラマを克明に記録したノンフィクション。	ジョシュア・ハマー/著	紀伊國屋書店
019.5/ジ/	十歳までに読んだ本 西加奈子、益田ミリ、杏、ミムラ、棚橋弘至、小川糸、森見登美彦、原田マハ、犬童一心…。作家、女優、映画監督ら70名が、子どものころに読んで心を揺さぶられた本について語る。	西加奈子/ほか著	ポプラ社
哲学・心理			
121.6/=/	福岡伸一、西田哲学を読む 「動的平衡」概念の提唱者である分子生物学者・福岡伸一が、西田哲学の継承者・池田善昭を指南役に、専門家でも難解とされる西田哲学を鮮やかに読み解く。生命誕生の謎に迫る、福岡の書き下ろし「動的平衡」理論編も収録。	池田善昭/著	明石書店
159.6/カ/	子や孫にしばられない生き方 私のリビングには孫のオモチャを置かない。食事は時間が合う夜だけ一緒に…。二世帯同居の著者が、子や孫と良い距離をとり、互いに自立するための生き方や、実践ルールを紹介。「孫ブルー」の悩みにも答える。	河村都/著	産業編集センター
伝記・地理			
289.3/7/	大人が読みたいアインシュタインの話 アインシュタインは、人並みはずれた集中力で天才に上り詰めた愚直な学者だった。天才らしからぬ子供時代や受験の失敗、女性トラブルなどに触れつつ、その巧みな处世術に迫る。わかりやすい相対性理論の解説も収録。	石川憲二/著	日刊工業新聞社
291.5/ヨ/	ぎふの里歩き 30 清流の城下町、癒やしの田園風景、滝とレトロな町…。こころを洗うぎふの里歩きを提案。「散策」以上「軽登山」未満の30コースを紹介する。湯どころも掲載。	吉澤マモ/著	岐阜新聞社総合メディア局出版室
社会			
304/カ/1	声なき人々の戦後史 上・下 労働、公害、教育、冤罪事件…。様々な社会問題に対し、一貫して、犠牲を押しつけられる側に寄り添い、取材を重ねてきたルポライター・鎌田慧が、その足跡を語る。	鎌田慧/著	藤原書店
383.8/エ/	歴メシ! 最古のパン、中世のシチュー、ルネサンスの健康食…。オリエント&ヨーロッパ世界に存在した8つの時代の歴史料理40品のレシピと共に、当時の食文化などを解説。歴史再現料理プロジェクト「音食紀行」の成果を元に書籍化。	遠藤雅司/著	柏書房
自然科学・医学			
440/7/	宇宙人に、いつ、どこで会えるか? 太陽系外に地球に似た惑星は多数存在する! 太陽系内でも生命体の存在は期待大! 宇宙論が専門の著者が、地球外生命探しのワクワクする最前線を、イラストを交えてわかりやすく解説する。	二間瀬敏史/著	さくら舎
487.5/キ/	岐阜県の魚類 岐阜県内の野外で捕獲された確実な記録のある魚種をすべて掲載。岐阜県の魚の本当の姿、自然の現状などがわかるように県内で撮影した写真だけを使用し、各魚種の特徴や県内分布等を解説する。	向井貴彦/編著	岐阜新聞社総合メディア局出版室
494.7/カ/	長く働けるからだをつくる 人生100年。からだが資本! 事故で一度は「働けるからだ」を失った著者が、元気なうちはどうしても見過ごしがちな「長く働けるからだの育み方」と、リハビリで体得した「整え方」を紹介する。	かじやますみこ/著	インプレス

家政			
596.3/イ/	SUSHI MODOKI	iina／著	グラフィック社
	パブリカで漬けまぐろ、エリンギでほたてやあわび、にんじん・かぼちゃ・酒粕・味噌でうに…。見た目も味も、驚くほど魚介の MODOKI 寿司を紹介する。巻き寿司、ちらし寿司、精進おすましなども収録。		
産業			
682.1/キ/	牛車で行こう!	京楽真帆子／著	吉川弘文館
	平安貴族が用いた牛車とは、どんな乗り物だったのか。乗り降りの作法、車種の違い、動力=牛の性能、乗車マナーなど、失われた日常生活を豊富な図版とともに生き生きと再現。牛車の魅力を余すところなく語る。		
文学—文学論・詩歌			
908.1/カ/	かのひと	菅原敏／[訳]著	東京新聞
	ゲーテ、ニーチェ、シェイクスピア…。いにしへの恋愛詩を気鋭の詩人・菅原敏が新たに超訳。はるかな時代を超えて甦る“恋の処方箋”全 35 篇を、現代美術家・久保田沙耶の絵とともに収録する。		
910.2/ミ/	濃飛文学百話 上・下	道下淳／著	岐阜新聞社総合メディア局出版室
	岐阜県を舞台とした文学作品の背景や説話などをまとめる。上は、「金華山伝説の原点「日本霊異記」」「岐阜来訪は五月七日か 松尾芭蕉」を、下は、「祐泉寺に迷い込む 北原白秋」「二・二六事件の取材 池波正太郎」などを収録。		
911.3/ヒ/	1 ランクアップのための俳句特訓塾	ひらのこぼ／著	草思社
	俳句の基本の形式は理解したが、いまいち上達しないという人に向けた、“2 冊目の俳句入門書”。そこからの上達法、楽しみつつ集中的にトレーニングする方法を、多くの例句を示しつつ教える。		
日本文学—小説			
913.6/アリ/	濱地健三郎の霊なる事件簿	有栖川有栖／著	KADOKAWA
	心霊探偵・濱地健三郎には鋭い推理力と幽霊を視る能力がある。事件の加害者が同じ時刻に違う場所にいる謎、ホラー作家のもとを訪れる見知らぬ幽霊の謎…。ミステリーと怪異が絶妙に融合する 7 篇。		
913.6/イサ/	AX	伊坂幸太郎／著	KADOKAWA
	「兜」は一流の殺し屋だが、家では妻に頭が上がらない恐妻家。引退を考えながらも爆弾職人を軽々と始末した兜は、意外な人物から襲撃を受け…。全 5 篇を収めた連作集。		
913.6/イワ/	ジャパン・トリップ	岩城けい／著	KADOKAWA
	オーストラリアから日本でのホームステイに参加したショーン。ステイ先の家族はとっても親切で幸せをかみしめていたショーンだけど、実は彼が日本に来たのにはある目的があって…。		
913.6/イワ/	絢爛たる奔流	岩井三四二／著	講談社
	世のため人のため、川の流れを変え、新たな川を作る。慶長年間、私財を投じて富士川や高瀬川の開削に挑んだ京の商人・角倉了以の劇的な人生を描く。		
913.6/スス/	桶狭間の四人	鈴木輝一郎／著	毎日新聞出版
	人生後半戦にしていまだ牢人暮らしの光秀。こき使われても全く出世の目がない秀吉。今川軍の雇われ城主・家康。大大名今川義元の脅威で常にキレ気味の信長。4 人の名将の夜明け前をコミカルに描く。		
913.6/セオ/	君が夏を走らせる	瀬尾まいこ／著	新潮社
	金髪にピアスでふらふらしている俺が、先輩の子どもの面倒をみる羽目に…。なんとかひと夏を乗り切ろうとする 16 歳の不良少年・大田の、出会いと別れの物語。		
913.6/ナカ/	ネメシスの使者	中山七里／著	文藝春秋
	重大事件を起こした懲役囚の家族が相次いで殺され、犯行現場には「ネメシス」の血文字が残されていた。犯人の動機は義憤か、復讐か。渡瀬警部が犯人を追う。社会派ミステリ。		
913.6/ヌマ/	影裏	沼田真佑／著	文藝春秋
	社の出向で移り住んだ岩手で、ただひとり心を許した同僚の日浅。いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、「3.11」以後、触れることになるのだが…。崩壊の予兆と人知れぬ思いを繊細に描く。第 157 回芥川賞受賞作。		

913.6/ハツ/	息子と狩猟に	服部文祥／著	新潮社
	圧倒的なリアリティと息を呑む展開に震える表題作と、最も危険な山での極限下の出来事を描く「K2」の2篇を収録。常に生死と向き合う登山家であり猟師である著者が、生命の根源に文章表現で迫る。		
913.6/フジ/	タフガイ	藤田宜永／著	早川書房
	1974年東京。探偵・浜崎が保護した少年の父はかつての悪友で、いまや名家の継嗣となった石雄だった。だが、旧交を温める間もなく石雄の義妹が殺され…。「喝采」続編。		

日本文学—エッセイ

914.6/アガ/	バブルノタシナミ	阿川佐和子／著	世界文化社
	短くも激しく燃えたあのバブルの日々があるから、今がある。アラフィフ世代がかつて駆け抜けた「バブル期」をキーワードに、チャーミングに年を重ねるコツを痛快に語る、アガワ節炸裂のエッセイ集。		
914.6/イツ/	あなたの人生を、誰かと比べなくていい	五木寛之／著	PHP 研究所
	「「幸せ」はその人のこころの中にある」「一瞬を味わうことが人生を豊かにする」「愛は、報われなくていい」「あきらめる」は明らかに究めること…。立ち止まってしまった人へ向けて五木寛之が贈る、珠玉のメッセージ集。		
914.6/セト/	あなただけじゃないんです	瀬戸内寂聴／著	自由国民社
	静かな心で判断する、小さな欲望で満足する、世の中は不条理と認める…。夫婦、嫁姑、親子の問題、対人関係や病気など、女性たちの悩みに、瀬戸内寂聴が自身の人生経験に触れながら一つひとつ答える。		

展 示 の ご 案 内

■ 8 / 26 (土) ~ 9 / 24 (日) ■

命を守る図書展～3万分の1の命と向き合う～
(本館1階)

日本では自殺によって多くの尊い命が失われています。自殺の多くは防ぐことができる社会的な問題です。この自殺の問題に対して、私たちひとりひとりができることは何でしょうか。自殺予防、うつ病、命の大切さに関するパネルや図書を展示します。

(可児市役所福祉課)

■ 9 / 30 (土) ~ 10 / 26 (木) ■

バラコレクション展
(本館1階)

可児市には花フェスタ記念公園があり、市の花にもバラが選ばれています。バラについての本を集めました。園芸の本や写真集、絵画集、絵本など、眺めるだけでも目の保養になりそうです。

講 座 の 参 加 者 募 集

「10歳からの読書案内」

小学校高学年から中学生の子どもたちは、勉強・遊び・部活と忙しく、本を読む時間が少なくなりがちです。けれども、思春期に読む本は、その後の人生までかえてしまうかもしれません。そんな素敵な本との出会いを作るための読書案内です。10代の子どもの関わる大人の方やボランティアの方等、一般向けの講座です。

■ 10月13日(金) 午後1時30分～3時30分(受付1時から)

■ 可児市立図書館本館 3階学習室にて ■ 講師 飯田治代さん(元名古屋市図書館職員)

■ 定員 50名 ■ 受付開始 9月12日(火)から(先着順)

■ 申込方法 本館に直接もしくは電話でお申込ください。電話:(0574) 62-5120

予告

リユース事業を開催します!

図書館で除籍した本を展示します。一人10冊まで持ち帰ることができます。

10月28日(土)、29日(日) 本館3階 午前10時15分から午後4時まで

開館時間 【本館】平日 10:00～19:00、土日祝 10:00～17:00
【分館】全日 9:00～17:00

休館日 9月 4,11,18,25～29日
(25～29日は蔵書点検のため)

携帯用
サイト



「図書館だより」2017年9月号

発行: 可児市立図書館 編集: 長谷川(本館) 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。